

2011年11月24日
日立オートモティブシステムズ株式会社

「第42回東京モーターショー2011」において 次世代自動車の進化に貢献する幅広い製品や技術を出展



日立グループブース概観イメージ

日立オートモティブシステムズ株式会社(取締役社長:大沼 邦彦/以下、日立オートモティブシステムズ)は、自動車関連事業を推進する日立のグループ会社と共同で、12月3日から12月11日まで(一般公開日)東京ビッグサイトで開催される「第42回東京モーターショー2011」に参加します。日立グループブースでは、『「環境」「安全」「情報」技術でグローバルに未来の駆動力となる』をテーマに、エネルギー効率が良く、より安全で快適であることが求められる次世代自動車に貢献する日立グループの幅広い製品や技術、さらには将来技術のコンセプトを紹介します。

車に求められている、環境対応や安全性、快適・利便性の向上を実現するためには、電子化、電動化の技術がますます不可欠となってきました。日立オートモティブシステムズをはじめとする日立グループは、今後ますます進展する車の電子・電動化に貢献するエレクトロニクス分野などの技術・ノウハウを有しており、国内外の自動車メーカーからも評価されています。中でも日立オートモティブシステムズは、「環境」「安全」、安心・利便・快適の価値をもたらす「情報」の3分野において、「エンジンマネジメントシステム」「エレクトリックパワートレインシステム」「走行制御システム」「車載情報システム」の4事業に注力し、先進的な自動車向けシステムの開発を推進しています。さらに、日立オートモティブシステムズは、個々の部品の高性能化、高効率化をめざすとともにそれらの部品を連携させ、最先端の制御技術を駆使して総合的なシステムとして組み上げることによって、エネルギーマネジメントの高効率化や、安全制御、快適・利便性の向上などが可能となり、車全体の制御システムである「次世代電動車両システム」を実現できると考えています。

「第42回東京モーターショー2011」において日立オートモティブシステムズは、東6ホールの日立グループブース(ブース番号:E6101)にて、クラリオン株式会社(以下、クラリオン)、日立ビークルエナジー株式会社(以下、日立ビークルエナジー)、トキコテクノ株式会社(以下、トキコテクノ)、日立化成工業株式会社(以下、日立化成工業)、新神戸電機株式会社(以下、新神戸電機)といった自動車関連事業を推進する日立のグループ会社と共同で出展します。日立グループブースの見どころは以下の通りです。

臨場感あふれる映像とともに、自動車を構成する様々な次世代技術を体感できる3D マッピングシアターとモーションライドシアターの2つのシアターを設置します。

■3D マッピングシアター

車の原寸大模型を立体スクリーンにして、3D の走行空間を体感できるシアターです。「環境」「安全」「情報」分野における高性能・高効率な部品やキーコンポーネントを、最適な電子・電動制御が可能なシステムとして連携させることによって、車のエネルギーマネジメント効率を最大にする「次世代電動車両システム」を体感いただけるシアターです。



3D マッピングシアター(イメージ)

■モーションライドシアター

4人乗りの客席が動くモーションライドシアターでは、日立オートモティブシステムズの外界認識、ブレーキ、サスペンションといった走行安全技術や、電気自動車用の車両充電管理といった情報通信技術を活用した車の走行を、来場者がシミュレーションで体感できるシアターです。



モーションライドシアター(イメージ)

「環境」「安全」「情報」分野、ならびに「高機能材料」コーナー別に、日立グループのもつ技術や製品をわかりやすく紹介します。

■環境技術コーナー

高効率ガソリンエンジンシステムをはじめ、ハイブリッドシステムとして GM シボレー・ボルトに採用されたモーター、インバーターと、GM ビューイック・ラクロスに採用された、日立ビークルエナジーのリチウムイオンバッテリーモジュールを展示します。また、本年 11 月 21 日に広報発表したインバーターの小型化に貢献する直接水冷型両面冷却パワーモジュールや、トキコテクノが製造する電気自動車用の充電器も展示します。

■安全技術コーナー

日産リーフ、日産フーガ・ハイブリッドに採用された電動型制御ブレーキや、スバルレガシィに採用されているステレオカメラなど、高付加価値製品として市場に評価されている走行制御システムを展示します。

■情報技術コーナー

日産リーフに採用された電気自動車用 ICT ソリューションのほか、クラリオンの最新カーナビゲーション、次世代製品のスマートフォン連携システム、フルデジタルスピーカーシステムを展示します。

■高機能材料コーナー

熱マネジメント・摩擦・リサイクルの視点から、環境対応車に貢献する日立化成工業の材料技術、部品を展示します。また、自動車用バッテリー、コンデンサーなどの蓄電デバイスと合成樹脂関連製品など、低炭素社会の実現に貢献する新神戸電機の製品群を展示します。

また、「第 42 回東京モーターショー 2011」に併催される「SMART MOBILITY CITY 2011」には、株式会社日立製作所を中心に西 4 ホールにて日立グループブース(ブース番号:SMC13)を出展し、車におけるエネルギーの高効率化に加え、社会システム全体で最適なエネルギーマネジメント・情報制御の実現に向けた取組みを紹介します。

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
